

原水爆禁止 2012年世界大会・科学者集会

非核の世界をめざして

～核兵器廃絶と原子力発電からの撤退～

- 日 時：2012年8月1日（水）10：00～17：00
- 会 場：大津市勤労福祉センター・大ホール
（京阪石場駅より徒歩5分、または、JR大津駅または膳所駅より徒歩20分）
- 参加費：会員・一般 1000円、院生・学生 500円

科学は、その知見が社会の発展と人類の幸福に役立ってこそ意義をなす。科学者の多くはそのような倫理規範に基づいて、研究を行ってきた。

しかしながら、原子物理学の研究過程で得られた知見が、こともあろうに大量殺戮の核兵器の開発に悪用され、1945年の広島と長崎への原爆投下によって約21万人の生命を奪い、今も放射能の後遺症で少なからぬ市民を苦しめ続けている。人類の生存すら危うくするこのような核兵器使用の犯罪性を糾弾する国際世論は、1950年のストックホルムアピール以降高まりを見せ、1985年から開始された「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」の国際署名運動によって、核兵器廃絶の世界的な世論が形成された。その後も「核兵器全面禁止のアピール」国際署名への広範な人々の賛同により、核兵器廃絶条約の交渉開始を迫るものとなっている。しかし、実現にはまだ遠く、科学者も多くの市民とともに核兵器廃絶の運動をより一層推進していく必要がある。

日本では、戦後原子力の「平和利用」の名のもとにアメリカの原子力政策に沿って原子力発電(原発)の開発が進められ、一部の科学者や技術者は原発の研究や技術開発に従事し、マスコミもあげて原発推進の旗振り役を演じてきた。けれども昨年3月に起きた福島原発事故で、多くの国民が危惧してきたことが現実のものとなった。環境に多量の放射性物質が飛散して深刻な事態を招き、今も解決のめどが全く立っていない。私たちは、原子力エネルギーの制御は極めて難しいという事実をもっと強く認識すべきである。

そもそも原発は稼動することで、大量の放射性廃棄物を産出しつづけている。無害化するまで何万年もかかる放射性廃棄物を子孫に残した状態で人類の幸福などありえず、原発もまた核兵器と同様に、人類の生存を危うくしている。核兵器廃絶と原発廃棄の運動を結合させていくことが、核拡散防止条約（NPT）体制の矛盾をつき、非核の世界をめざす人類の課題を実現する唯一の道である。

原水爆禁止2012年世界大会・科学者集会は、滋賀県の大津市で開催される。隣接する福井県には日本で最大数の原発が林立し、滋賀県民のみならず多くの国民が事故による放射能の危険性を常に感じている。そこで、今年の科学者集会は、原水爆禁止の課題とともに原発問題についての報告や討論を予定している。多数の科学者や市民の参加ならびにご支援を訴える次第である。

2012年6月

原水爆禁止 2012年世界大会・科学者集会実行委員会
委員長 畑 明郎

◇原水爆禁止 2012 年世界大会・科学者集会 プログラム◇

●2012 年 8 月 1 日（水）

大津市勤労福祉センター・大ホール（150 席）

- 9:30 開場
- 10:00 [開会あいさつ] 実行委員長 畑 明郎（大阪市立大学元教授）
- 10:10 [報告 1]「封印されたヒロシマ・ナガサキ：米核実験と民間防衛計画」
高橋博子（広島市立大学講師）
- 10:40 [報告 2]「アメリカの軍事戦略と原子力技術」
山崎文徳（立命館大学准教授）
- 11:10 [海外代表の特別報告(通訳付き)]
ジョゼフ・ガーソン（アメリカ、フレンズ奉仕委員会）
- 12:00 （昼食休憩）
- 13:00 [報告 3]「ドイツの原子力政策と放射線防護行政」
川崎陽子（欧州在住の環境ジャーナリスト）
- 13:30 [報告 4]「モンゴル国におけるウラン開発、原発建設、使用済み核燃料問題」
今岡良子（大阪大学准教授）
- 14:00 [報告 5]「福井原発再稼働差止訴訟の論点」
井戸謙一（滋賀弁護士会）
- 14:30 [報告 6]「福井原発の現地からの報告」
山本雅彦（原発問題住民運動全国連絡センター代表委員）
- 15:00 （休憩）
- 15:15 [各種団体のリレー発言]
- 15:45 [総合討論]
- 16:45 [集会のまとめと閉会あいさつ]
- 17:00 閉会

原水爆禁止 2012 年世界大会・科学者集会参加申込書

氏名：	勤務先・所属団体など
連絡先：〒	
TEL	E-Mail
会場から発言を希望される場合、そのテーマなどをご記入ください。	
備考：	専門分野

◆集会の進め方

- ・分科会方式はとらず、すべて全体会で行います。
- ・「総合討論」での会場からの発言（3分以内でお願いします）をご希望の方は、「参加申込書」に必要事項を記入してご提出ください。なお、時間の関係で発言できない場合もあります。

◆参加申し込み・参加費

- ・「参加申込書」に必要事項を記入して、下記までご送付ください。当日のご参加も受け付けますが、会場準備のため、事前申し込みにご協力ください。
- ・大津市のほか、京都駅（JR 大津駅から 2 駅）近辺にも多くのホテルがございます。宿泊については各自で手配をお願いします。
- ・参加費は、当日、受付でいただきます。

《申込み・問合わせ先》

原水爆禁止 2012 年世界大会・科学者集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階

日本科学者会議 気付

TEL 03-3812-1472 FAX 03-3813-2363

E-Mail zenkoku (あ) jsa. gr. jp

実行委員会（日本科学者会議）

実行委員長 畑 明郎（滋賀支部代表幹事）、事務局長 小島 彬（滋賀支部事務局長）

事務局次長 柳澤淳一（滋賀支部事務局次長）

委員 河村 洋（全国常幹）、後藤隆雄（全国常幹）、富田道男（全国常幹）、今岡良子（大阪）
山崎文徳（大阪）、宗川吉汪（京都）、石川清一（滋賀）、梅田 修（滋賀）、大畑智史（滋賀）
田中成幸（滋賀）、中村征夫（滋賀）、西山勝夫（滋賀）、野口 宏（滋賀）

◆交通のご案内

会 場：大津市勤労福祉センター（電話：077-522-7474）

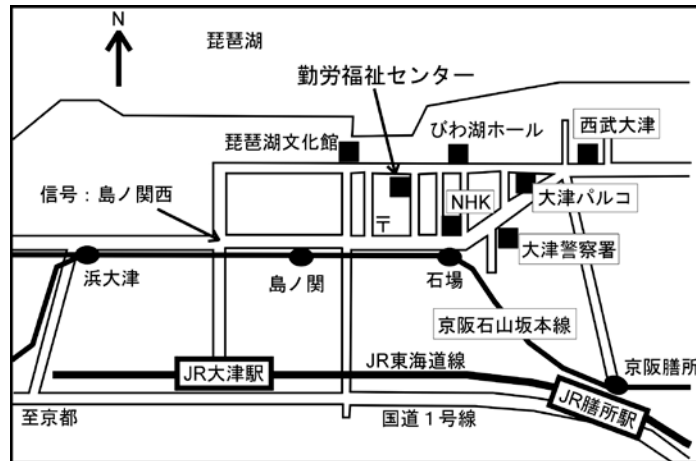
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 1 番 6 号

<http://www.city.otsu.shiga.jp/www/contents/1102384216953/index.html>

■アクセス

- ・ JR 大津駅または膳所駅（東海道本線）より、車で 4 分または徒歩 20 分
 - ・ JR 大津京駅（湖西線）より、車で 10 分
 - ・ 京阪石場駅より、徒歩 5 分
 - ・ 京阪浜大津駅より、車で 3 分または徒歩 15 分
- （JR 線と京阪石山坂本線（石坂線）は、膳所駅にて接続しています。）

（JR 大津駅から会場まで）



（会場周辺拡大図）

